

出前講座のご紹介

2014. 12. 1

目次

- 1 ご挨拶
- 2 実施体制
- 3 事業実績
- 4 研修の流れ
- 5 平成 26 年度予定

作成担当：

福島県立医科大学医学部
公衆衛生学講座 大山

住民の健康の「見守り役」になっている市町村の保健師さん達を対象とする出前講座を、本学の性差医療センター、災害医療総合学習センターおよび公衆衛生学講座が共同で企画してきました。その目的は、県内で働いている保健医療関係者が、現場の活動からお互いに学ぶことと、話し合うことでお互いのメンタル・ヘルスにも気づかうことです。

学ぶテーマは様々で、女性の健康、メンタルヘルス、放射線、甲状腺、健康情報の伝え方などです。講義と話し合いを組み合わせ、さらには、研修会後に振り返りの資料を配布することにより、研修の効果を上げています。毎回、講義や話し合いで学んだことは保健活動に役立つと、参加者の 8 割以上が回答して下さっています。

これまでの事業実績は表をご覧ください。年度毎に実施体制と対象地域を拡大してきて、本年度は県内各地で 12 回開催を予定しています。

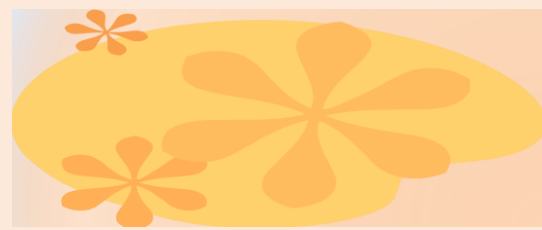
※ ご挨拶



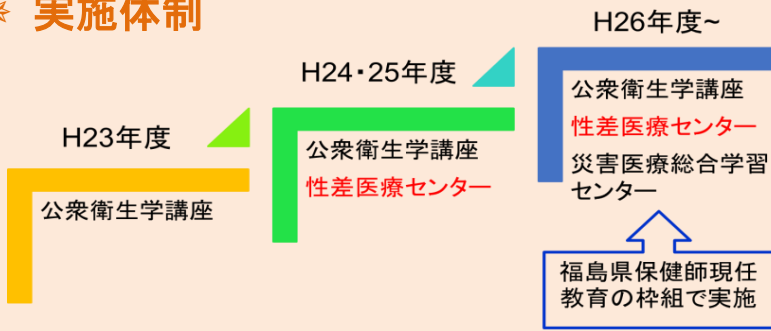
部長 小宮 ひろみ

福島県立医科大学附属病院性差医療センター、福島県立医科大学公衆衛生学講座、災害医療総合学習センターが連携して、保健師さんたちに出前講座を実施しております。震災後、県民の皆さんと医療をつなぐ架け橋になられている保健師さんたちのお役に立ちたいという思いから企画されたものです。福島県の医師不足は深刻な課題です。その中で、いかに病気を予防するか、また病気の早期発見につなげるかは大変重要です。住民の皆さんと直接対話される保健師さんたちの活躍が期待されるところです。

その保健師さんたちを微力ではありますが、支援させていただきたいと考えております。今後とも楽しく有意義な出前講座が提供できるようがんばります。また、マンパワーの問題はありますが、この支援が県内に拡大できるように努力してまいりますので、本事業にご支援またご協力くださいますようお願いいたします。



※ 実施体制



大学の複数の部署が、県や自治体と協力して、本研修を実施しています。

※ 事業実績

年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
対象地域	福島市	福島市	県北	全県
実施回数	1 回	3 回	4 回	12 回予定
参加延人数	27 人	74 人	122 人	—

※ 研修の様子



研修後のアンケートや内容をまとめた報告書



※ 平成 26 年度予定

テーマ	講師	開催予定月	対象地域
笑いを生かした健康づくり	大平哲也 疫学講座	H26 年 7 月 (2 回)	県北
原子力災害とメンタルヘルス	鈴木友理子 公衆衛生学講座	H26 年 10 月	郡山市
健康情報を 読み解く力・伝える力	後藤あや 公衆衛生学講座	H26 年 11・12 月 (各 2 回)	会津 相双
女性のライフステージを 考慮した健康支援	小宮ひろみ 性差医療センター	H26 年 10 月 H26 年 2 月	いわき市 郡山市
福島における放射線リスク	熊谷淳史	H26 年 1 月 H26 年 1 月	県南・県中 いわき市